



株式会社ハイドロネクスト

● 水素精製モジュールメーカー

知識
製造業
宣言

水素精製技術で水素量不足を解決し、
持続可能な世界を実現する

特 徴

- ▶ 水素を含む廃棄ガスからでも高純度な水素精製が可能
- ▶ 精製した水素はISO14687 Grade-D(FCV供給レベル)の品質基準を達成
- ▶ 水素社会・炭素循環型社会の実現に向けたプロジェクト「SUISO no MORI」で実証実験を開始

解決したい課題、実現したい未来

当社の水素精製モジュールは、廃棄ガスなどから高純度水素を精製できる技術です。これにより、地産地消型の安定した水素供給が可能になります。太陽光や風力など再生可能エネルギーに頼る水素供給は天候などの影響を受けるため不安定です。当社の技術はその課題を解決し、日本政府が2050年に掲げる水素導入計画2000万tの実現に貢献します。

注力したい領域

◎エネルギー・環境・資源

- ☐ 健康・医療・生活
- ☐ 食料・農林水産
- ☐ 海洋・宇宙
- ☐ 情報通信
- ☐ モビリティ
- ☐ インフラ・住宅

製品・サービス、強み

当社の水素分離膜はバナジウムを使用しており、従来のパラジウム膜に比べ、低濃度の水素ガスからでも超高純度水素(ISO14687 Grade-D)を取り出せます。これにより、バイオガスや副生ガスなどからの水素精製が低コストで実現でき、水素価格の引き下げにも貢献します。また、単に膜を提供するだけではなく、1) ご相談 → 2) PoC試験(少量評価) → 3) パイロットモデル試験(中量評価) → 4) 本格導入まで、各フェーズにおいてお客様の課題に寄り添ったコンサルティングと支援ができることが強みです。



水素精製モジュール 外観

コミュニケーター
からひとこと



伊知地 聡

家業もありながら、「世界を救う事業を推し進めるアントレプレナー」に魅せられて、地元大分で研究されていた水素分離の基本原則を、実用レベルに進化させ、社会実装するために起業した永井社長。その情熱と行動力に惹かれて、優れた仲間がどんどん集まってきています。ぜひみなさんも巻き込まれてください！

■ 会社概要

代表者 永井 正章
創業/設立 2015年12月25日
資本金 1億7,130万円
事業内容 水素精製装置の研究開発、装置の販売及び、水素のコンサルティング業務
従業員数 9名
所在地 大分県大分市大字三佐650-2
WEB <https://www.hydroenxt.co.jp>

その他 2021年2月 第18回大分県ビジネスブラングランプリ 最優秀賞受賞 / 2024年9月 エコテックグランプリ 旭有機材賞受賞 / 2024年9月 J-Startup KYUSHU(第3次)認定 / 2025年1月 Deep Tech Venture of the Year 2025 グロース部門 受賞

